

施設整備(変更)計画書

(記入例)

アイランドシティ環境配慮指針に基づき施設整備(変更)計画書を届出します。この計画書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

年 月 日

(あて先)福岡市長

申請者住所(法人にあつては所在地)

申請者氏名(法人にあつては法人名及び代表者氏名)

<<施設概要>>

【敷地の地名地番】

【施設の名称】

【主要用途】 戸建住宅

【延べ面積(建物全体)】届出部分: 140 m²

内訳:

届出以外の部分: 0 m² (変更しない部分)

合計: 140 m²

【申請棟数】 1 棟 (届出以外)

【建築物の構造】 (2) 階

木造 鉄骨造 鉄筋コンクリート造 その他 ()

【工事の予定】 工事着手予定 ○年 ○月 ○日

工事完了予定 ○年 ○月 ○日

<<建築物及びその敷地に関する事項>>

【工事種別】 新築 増築 改築 (該当する種別に×を記す。)

【敷地面積】 (250) m²

【内訳：延べ面積】 (届出部分) (届出以外の部分) (小 計)

[建築物全体] (140) () (140) m²

[自動車車庫等部分] () () () m²

[その他] () () () m²

[合計] (140) m²

【内訳：水平投影面積】 (届出部分) (届出以外の部分) (小 計)

[建築物部分] (80) () (80) m²

[自動車車庫等部分] () () () m²

[その他] () () () m²

[合計] (80) m²

【緑化率】 (届出部分) (届出以外) (小 計) (緑化率=小計/敷地面積)

[地 表] (60) () (60) m² (24.0) %

[屋 上] () () () m² () %

[壁 面] () () () m² () %

[合計] (60) m² (24.0) %

【環境配慮対策実施状況】

別 添 (チェックシート) : 必要により、実施内容についての説明やカタログ等を添付

【添付図面】

周辺見取り図, 施設平面図, 各階平面図 (窓・換気系統記載), 立断面図, 緑化図

【備考】

適合の有無を
○×で記載

[住宅整備：戸建住宅] チェックシート

目標像	キーコンセプト	基本的配慮事項	環境配慮対策	実施内容	導入水準	適合有無	備考
目標1 共生するまちな自然環境と豊かな自然環境との共生	自然環境との共生	<ul style="list-style-type: none"> ●生き物生息環境の創造 ●敷地内緑化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性に配慮した植生の確保 ○身近な緑の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・垣・柵 ・外構 ・緑化率 	○緑化にあたっては生物多様性に配慮した植生を確保する。	1		植生等記載
				○道路、公園及び緑地沿いにおいては生け垣等により緑化する。	1		緑化図に記載
				○道路、公園及び緑地沿いにおいては緑地空間を確保する。	1		緑化図に記載
				○屋外に駐車場を整備する場合は、周辺部、仕切り部分等、可能な部分を緑化する。	1		緑化図に記載
				○屋外に駐車場を整備する場合は、駐車面を緑化する。	2		緑化図に記載
○空地部分は緑化する。	1		緑化率				
目標2 ストップ・ザ・温暖化のまちな創造	省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー負荷の抑制 ●エネルギーの効率的利用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○日照・風の流に配慮した施設整備 ○高断熱・高气密化 ○日射調節 <ul style="list-style-type: none"> ・庇、ブラインド、熱の透過性が低い高性能ガラス、パーゴラ等 ○自然採光 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な開口部、天窓、側窓、ライトコート等 ○通風性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な開口部等 ○節電システムの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・LED等節電型照明、調光システム、省エネ型空調、省エネ型エレベータ、換気装置等 ○エネルギー使用量やCO₂排出量の見える化 <ul style="list-style-type: none"> ・見える化システム ○省エネルギーコントロール <ul style="list-style-type: none"> ・家庭エネルギー管理システム(HEMS) ○コージェネレーションシステム <ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池システム、ガスエンジン等 ○高効率給湯器の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・高効率給湯器 	○日照や風の流に配慮した施設配置・形状とする。	1		平面図に記載
				○国土交通省が設定している「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断の基準」及び「同設計及び施工の指針」(次世代省エネルギー基準)を遵守する。	1		性能評価書を添付
				○基本的対策として確保する。ただし、冷暖房負荷の増大要因とならないよう適切な配置・形状とする。	1		平面図に記載
				○基本的対策として確保する。	1		平面図に記載
				○省エネルギー機器(節電型の機器等)を設置する。	1		機器のカタログ等を添付
				○計測したエネルギー消費量やCO ₂ 排出量等を、モニター等で入居者等にわかりやすく表示するシステムを導入する。	1		説明書等を添付
				○街区等を単位として、計測したエネルギー消費量等のデータを集約化し、省エネアドバイス等、各々の住宅所有者にフィードバックするシステムを構築する。	2		説明書等を添付
				○見える化に加え、家電機器等の省エネコントロールシステムを導入する。	2		説明書等を添付
				○コージェネレーションシステムを導入する(家庭用ガス発電給湯暖房システム(エコビル)、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)等)。	2		カタログ等を添付(CO ₂ 削減量を含む)
				○潜熱回収型給湯器(エコウォース)、自然冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)等を導入する(家庭用ガス発電給湯暖房システム(エコビル)、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)は除く)。	1		カタログ等を添付(CO ₂ 削減量を含む)

[住宅整備：戸建住宅] チェックシート

目標像	キーコンセプト	基本的配慮事項	環境配慮対策	実施内容	導入水準	適合有無	備考
目標2…ストップ・ザ・温暖化 のまちの創造	省エネルギーの推進	●エネルギーの効率的利用の推進	○ AEMS (エア・エネルギー・マネジメント・システム)、スマートグリッド	○ 地域レベルのエネルギーマネジメントシステムや、再生可能エネルギーの集中導入などに対応するスマートグリッド等を導入する。	3		説明書等を添付
			○ ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)	○ ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) として建設する。	2		説明書等を添付
			○ LCCM (ライフサイクル・カーボン・マイナス) 住宅	○ LCCM (ライフサイクル・カーボン・マイナス) 住宅として建設する。	3		説明書等を添付
	再生可能エネルギーの利用	●自然エネルギーの利用推進	○太陽光など未利用自然エネルギーの活用	○太陽光発電システムを導入する。 ○太陽光発電以外の再生可能エネルギー(太陽熱利用、風力発電等)を利用する。	1 2		カタログ(出力)カタログ等を添付(CO2削減量を含む)
CO2の固定化	●木材系資材の利用推進	○住宅用建材としての利用	○内装等を木質化する。	1		品目等を記載	
目標3…人と環境にやさしい 交通を取り入れたまちの創造	自動車交通の負荷抑制	●次世代自動車等の利用推進	○次世代自動車等が利用できる建築設備的対策の導入	○駐車場等への電気自動車用充電設備を設置する。	2		設置場所を平面図に記載
目標4…水や資源を生かすまちの創造	水資源の有効利用	●高度な節水対策の推進 ●雨水の有効利用の推進	○節水型機器の利用	○使用機器は節水型とする。	1		カタログ等を添付
			○保水の確保(*)	○空地部分は、緑化等により雨水浸透を行う。	1		平面図に記載
				○敷地内等の舗装部分は、透水性舗装等により雨水浸透を行う。	1		平面図に記載
				○地上に駐車場を整備する場合には、緑化や透水性舗装等により雨水浸透を行う。	1		平面図に記載
	○雨水の雑用水利用	○雑用水(散水、洗車等)に雨水を利用する。	2		平面図に記載 貯水槽容量		
	循環型システムの形成	●リサイクル品の利用推進	○建築物、敷地内通路、オープンスペース等への利用	○福岡市グリーン購入ガイドライン「15.公共工事」に示される再生資材を利用する。	1		リサイクル堆肥等を記載
				○リサイクル鋼材等を利用する。	1		品目等を記載
●ライフサイクルでみた省資源対策の推進		○建設廃棄物の発生抑制 ○建設物の長期利用のための高耐久化	○再生利用・再使用が可能な建設資材および工法を選定する。	1		内容等を記載	
			○維持管理の容易性、改修・更新への対応性(住宅性能表示制度の維持管理対策等級3相当)を確保する。 ○躯体の劣化対策(住宅性能表示制度の劣化対策等級3相当)を講じる。 ○長期優良住宅の認定基準を満足する住宅とする。	1 1 2		証明書等を添付 証明書等を添付 証明書等を添付	
CASBEE		○CASBEEによる評価	○CASBEE戸建による評価を行い、B+ランク以上を取得する。	3		証明書等を添付	